



UKC-CUP 耐久レース 特別規則書

2026/8/15

このイベントはエンジョイ派のレンタルカーターがレースを楽しむイベントです。

楽しく、怪我無くイベントを開催できるよう、全ての参加者は規則を守ってお互いをリスペクト(尊重)して大会を楽しんで下さい。

上記にご賛同および本規則則をご理解いただいた上、御参加をお願い致します。

1. 参加対象 ※下記条件を全て満たしている方

- ①周りのみんなを尊重してレースが出来る方
- ②1チーム 2～5名
- ③当該年15歳以上、身長145cm以上でU-KART CIRCUITのライセンスを所持し、GRADE-Aに昇格している方。
- ④SWSにドライバー登録している方。チーム登録をしているチーム。

(SWSホームページから登録が出来ます。 <https://www.sodiwseries.com/ja-jp/become-sws-driver.html> 詳しくはスタッフにお問い合わせ下さい。)

- ⑤U-KART CIRCUIT にてスポーツ安全保険に加入されている方。

2. 開催日 シリーズ戦ではなく、各レース表彰となります。

Round①	Round②
9/6(sun)	11/3(mon)

3. 当日のタイムスケジュール ※天候などの状況によって、変更することがあります。

2h 耐久

日曜・祝日開催

8:40	受付・予選マシン抽選・ドライバー計測
9:00	ドライバーズミーティング
9:40	タイムアタック 代表①、代表② TA 5分
10:00	決勝耐久レース 2h
12:00	表彰式

4. エントリーについて

エントリー 受付期間	受付開始より定員9チームに達した時点で×切。 第1次締切 開催日3日前時点で6チームに達していない場合は不開催となる場合があります。 第2次締切 最低開催台数に達していた場合は開催日1日前12時まで ※1次締切以降のエントリーについては遅延金2,000円が必要になります。 SWSレースとしての成立は6チームとなります。全参加チームが同意の場合、4チーム以上で大会を開催する場合があります。
エントリー 方法	エントリー枠の確保が出来たチームはSWSホームページのU-KART CIRCUITのレースページからエントリーを行ってください。 https://www.sodiwseries.com/ja-jp/tracks/u-kart-circuit-892.html エントリー用紙はホームページにてエントリーが済み次第、FAXかメールもしくは直接コース受付に提出願います。 FAX 042-533-3457 MAIL : mail@u-kartcircuit.com
エントリー 費用	¥25,000 エントリーフィーは開催当日までにコース受付にてお支払いもしくは下記口座にお振込み願います。 お振込先 多摩信用金庫 中野山王支店 (普) 0325273 カ) ユーカート ※キャンセルの場合、開催日の6日前からキャンセル料としてエントリーフィーの半額をお支払い頂きます。 SWSサイトへ事前登録した時点でエントリーとみなします。

5. ドライバーの装備品について

- レースイベントに参加される方の装備品はヘルメット フルフェイス又はジェット型(共にシールドは必備)
レーシングスーツ・布製のツナギを推奨します。長袖・長ズボン・グローブ・ネックガードの着用が義務付けとなります。安全の為に袖だけのカバーや薄い生地
のロングTシャツは禁止です。
- 装備品やヘルメットの顎紐、バイザー、シートベルト等、不備があった場合はオレンジボール旗提示後ピットインとなります。
- 携帯電話及び各種無線機器を使用しての走行中のドライバーとの通信は禁止となります。
- シートベルト(カート含む)に対しての加工は禁止です。

6. 予選タイムアタックについて

- 使用マシンは抽選により決定します。(予選、決勝スタートは同じカート)
- 代表2名のドライバーによる5分間×2回のタイムアタックとなります。
- ピットインした場合にはタイムアタック終了とし、再出走は出来ません。
- 予選から支給された**3500mlの燃料**を使用します。参加選手は計測1周以上の走行が義務付けられます。
- 出走前にタイムアタックドライバーのウエイトチェック完了後に出走となります。
- タイムアタック中は他の選手を追走するために待つことは認められません。但し、フリーの走行スペースの確保の入れ替わりは可とする。
- 予選タイムアタックの代表①②の総合結果(合計タイム)で決勝レースのスターティンググリッドを決定致します。
※同タイムの場合には代表①の選手のタイムによって決定します。
- ポールポジションを獲得ボーナスとして追加燃料100mlが支給されます。

7. 決勝レースについて 120分間

スタートはグリッドからのスタンディングスタートで行います。

順位の認定についてはチェッカーを振られた時点で完了する周回数を元に順位の認定が行われる。

燃料不足申請やガス欠により救済措置燃料を補充した場合は無補充のチームの下位とする。

但し、順位認定はコントロールライン上でチェッカーを受けて最終周回を完了した車両に優先的に与えられる。

8. ドライバー交代・給油・ピットインについて

- ドライバー交代(ピットイン)の義務回数は6回になります。
- ドライバー交代のみの停止時間は2分間。
- 車両トラブル等により交代可能時間が著しく少なくなった場合には、義務回数を免除することがあります。
- 1度に2台までのドライバー交代が可能になります。定数が交代中は待機となります。
- 残燃料を確認時に明らかに燃料が不足している場合には燃料不足申請をして救済措置燃料を補充することが出来ます。ピットイン時に申請して下さい。燃料補充の際にはレーンを移動し、停止時間が1分追加されます。指示があつてから燃料の補充をして下さい。
- 燃料をこぼしてしまった場合は失った分は補充出来ませんので残量を補充して頂きます。
- スタート直後の各自の1周目はピットインが出来ません。2周目以降に行ってください。
- ピットの交代エリアに入れるのは交代するドライバーのみとなります。
- サインボードは指定されたエリアで安全に注意して出してください。
各チーム1名のみサインボードエリアに入れますが常時いることはできません、ピットインのサインを出した後はピットに戻ってください。
- オリジナルサインボードの使用は可能とします。※貸し出し用のサインボード(ゼッケンボード)もあります。
- ピットイン時は最終コーナー手前から右手を挙げて徐々にスピードを落としてピットインしてください。
- 規定に関して続いての内容が調整される場合があります。
PP追加燃料量の変更。燃料総量の変更。交代時間の変更。義務車両交代の追加。

【ドライバーチェンジの方法】

ノーマシンチェンジ方式

※マシントラブル・ガス欠停止などによりマシンチェンジを行う場合があります。

1. ドライバー交代エリアの指定されたレーンの枠（2枠）にエンジンを停止して止まってください。スタッフが指定する空いてる枠に停止します。
同時に交代クイックチェンジエリアに入れるのは2台までとなります。枠が埋まっている場合は手前にある指定された停止ラインに1列に並んで枠が空くのをお待ちください。ピットスルーは不可。ドライバー交代については必須になります。
 2. カートが停止後にスタッフがエンジンを停止し、タイマー(120秒)がスタートします。※交代ドライバーはカートが停止後にドライバー交代エリアに入れます。
スタッフが燃料残量確認後に交代作業に入れます。
 3. 次のドライバーに合わせてウエイト調整してください。ウエイトのチェックを行い、準備が出来たことを確認出来たらスタッフが15秒前からエンジン始動します。
120秒が経過してオフィシャルからスタートの合図が出たらスタートして下さい。
※余裕を持った停止時間(120秒)となっていますので、ゆくりと確実に作業を行ってください。
※特にウエイトの扱いについては落とさないように十分に注意して怪我の無いようにしてください。
- ドライバー交代の際は降車・乗車するドライバーを含め、チームの2名のみウエイト載せ替え、シートベルト装着や装備等の補助が出来ます。
規定時間を超えた場合など、状況によってオフィシャルが手伝う場合もあります。※但し最終チェックはドライバー自身で行ってください。
オフィシャルが作業した場合でも不備がある場合はオレンジボールの対象となります。
 - 再スタートの際、乗車したドライバー以外はカート及びドライバーに触れることは出来ません。(カートを押すことは出来ません)
 - ガス欠によりコース上に停止せざる負えない場合はドライバーは止まる前にコースの右側に停止してください。ドライバーは乗車のままでお待ち下さい。
スタッフがカートをスリーパーで押してピットロードに戻します。ドライバーは極端なステアリング操作をせずにピットロードへ戻ってください。
フルコースコーション中、回収場所によってはスリーパーが逆走にてコースに入る場合がありますので十分注意願います。
車両がドライバー交代エリアに戻され、救済措置用燃料を補充して再スタートすることが可能です。スタッフによる再始動（安定したエンジン動作の確認）までドライバー交代作業をすることが出来ません。このピットインの場合もドライバー交代の回数に認められます。
 - ガス欠車両が確認された場合、フルコースコーションとなりグレードC設定での走行となります。スタッフによりピットロードへ車両が回収されるまで解除されません。
また、ピットがクローズとなり、ドライバー交代は制限されます。ピット停止車両は規定時間でピットアウトが可能です。
 - ピット入口はレース終了 5 分前にクローズとなります。クローズ後のガス欠車両については車両回収は行わずドライバーは安全な場所に誘導され待機となります。
※但し、クイックチェンジに並んでいる場合、チェッカーを受けられないとオフィシャルが判断した場合は早めにピット入口をクローズする場合があります。
 - レース後半は混雑が予想されますので早めのピットインをお願いします。
 - ペナルティによるピットインの場合にはドライバー交代することは出来ません。(ドライバー交代不可)
 - 【紳士協定ルール】
※ドライバー交代時、停止スペースにカートが納まるまでは両手はハンドルを握ったまま、カートが停止してからエンジン停止となります。
※シートベルトのバックル、サイドカウルに手をかけながらの走行はしないでください。
※停止スペースの枠よりカートがはみ出ないように停止してください。

9. キャリーウエイト制 80kg(最大29.6kgまで) ※全国大会規定とは異なります。

- ドライバー・装備品込みの重量(ヘルメットなど走行時の状態)に合わせて予選、決勝共にウエイトを搭載
- 女性タイムアタック、レースいづれかで3位以内に入るまではノーウエイト。以降は一律60kgで計算(希望計量は可能)
- 受付時にドライバー・装備品込みの計量を行いウエイト管理の腕章を渡します。 ※左腕につけてください。
※ヘルメット・グローブ・服装・シューズ・ネックガード・リブプロテクター・自作シートクッション込みで計量を行います。
- 不正行為が確認された場合は当該レース失格となります。(レース後に再計量の致します。)
(予選、決勝の各ヒート前に抜き打ちで再計量を行いウエイトの再調整を行うことがあります。)
- ポケットやプロテクター内にウエイト(走行に不要な物)を使う事はできません。
- 体に巻き付けるウエイト器具などは使用は禁止となります。
- 全ての公式計量において計量中の重量を調整することを目的とした行為を禁止します。
※計量途中での飲水、飲食・計量途中での装備品の変更・計量後の装備品の変更等
※重量計に乗った時点での重量が採用されます。計量後の飲水は可能です。

- サーキット指定のシートクッション(2.4kg扱いとする)及び自作のシートクッション(目安として2.5kg以内)を 装備重量として計量が可能となります。
自作のシートクッションを使用する場合、重量増を目的とした加工は禁止いたします。材質は柔軟性のあるもの又はプラスチック系の材質のみ使用可能とします。
(金属は禁止) シートクッション込みの計量をされた方は途中でシートクッションの不使用等の変更は出来ません。

ドライバー装備重量	ウエイト	■ = 7.6kgウエイトシート ■ = 2.4kg
52.7kg以下	29.6kg	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
52.8～55.1kg	27.2kg	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
55.2～57.5kg	24.8kg	■ ■ ■ ■ ■ ■
57.6～59.9kg	22.4kg	■ ■ ■ ■ ■
60.0～62.3kg	20kg	■ ■ ■ ■
62.4～64.7kg	17.6kg	■ ■ ■
64.8～65.1kg	15.2kg	■ ■
65.2～67.5kg	14.8kg	■ ■ ■ ■
67.6～69.9kg	12.4kg	■ ■ ■
70.0～72.3kg	10kg	■ ■
72.4～72.7kg	7.6kg	■
72.8～75.1kg	7.2kg	■ ■ ■
75.2～77.5kg	4.8kg	■ ■
77.6～79.9kg	2.4kg	■
80.0kg以上	0kg	

(例)68kgの人→12.4kgウエイト ■ ■ ■ 搭載 ※2.4kgウエイト x 2 相当の4.8kgウエイトを使用することがあります。

10.ピットロードの安全義務について

- ピットイン・アウト時は後続者に見るように左手を挙げて合図してください。
- ピットロード内は狭く危険なため必ず徐行をお願い致します。指定された一時停止ラインで必ず一時停止をしてください。
- レース当日はピットロード内にスピード抑制の為のパイロンシケインを設置する場合がありますのでパイロンタッチに注意してください。
 - コースインする際は必ず1コーナー出口までホワイトラインの右側をキープして走行して、左手を挙げて下さい。
- コースを走行しているカートが優先となります。クリアな合流が出来るまでは右側を走行してください。

11. 走行中のマシントラブルについて

- オレンジボール旗を提示します。ピットに戻りオフィシャルの指示に従いスペアカーに乗り換えてください。
- コース内で止まってしまった場合はオフィシャルが安全な場所までカートを移動します。オフィシャルの指示でドライバーは装備品を装着したままコースを歩いてPITに戻ってください。その後、スペアカーに乗り換え、再スタートとなります。
- すでにスペアカーが出ている場合やスペアカーがない場合、修理可能な場合を除いてリタイヤとなります。
- クラッシュによりマシンが壊れた場合、スペアカーは使用できません。修理可能な場合を除いてリタイヤとなります。

12. フルコースコース「VS」及びレースの中断について

- 何らかのトラブルや天候の急変により必要に応じてバーチャルセーフティーカー(以下VS)が導入されます。この場合はコースのシグナルが黄色に点滅して、メインポストで「VS」のサインボードと黄旗を提示すると同時に全車一斉にリモートコントロールによりエンジンリミッターが掛かります。追い越しは禁止で、尚且つ前車との距離はリミッターが掛かった時点での距離を保つようにしてください。機器の故障によりリミッターが効かない場合も距離を保って追い越しは禁止となります。VSの終了時はシグナルが消灯しメインポストでグリーンフラッグが振られリミッターが解除されます。
- 赤旗によるレースの中断
コースの破損・計測器のトラブル・多重クラッシュ等の理由でレースを中断する必要があると競技長が判断した場合はレッドフラッグにより走行を中断します。走行中のドライバーは徐行してオフィシャルが指示するフィニッシュライン手前で安全に停止してください。
状況によってセッション又は決勝レースは短縮又は中止される場合があります。決勝レースについてはトップがレース時間の75%を超えた場合には出た直前の周回の順位でレースは成立とします。(タイムアタックは2分を超えた場合は赤旗時点でのタイムで順位決定
レース成立に満たない場合は赤旗の出る前の記録された順位から残り時間でレース再開となります。
決勝レース中の計測トラブルでの中断については上記の再開方法の他、10分毎に記録している直近の計測順位に基づいてレースを再開する場合があります。

13. ペナルティーについて

- 競技中のペナルティについては「U-KART CIRCUIT Penalty Catalog（ペナルティーカタログ）」に基づき決定されます。
- コース内はビデオカメラにて常時録画されており、必要に応じてペナルティー検証に使用致します。**
※ペナルティー 5秒～30秒間のリミッター走行、若しくは元の順位に戻すまで／秒数加算／周回数の減算／失格
ルールに違反した場合は、次のペナルティーが科せられます。

	違反行為	ペナルティー
タイムアタック	義務周回数不足、一時停止無視・黄信号無視、フラッグ無視 カットイン、エッジイン・ブッシング・幅寄・その他の違反	注意又はベストラップ削除若しくはラップタイム加算。義務周回数不足については追加周回3LAP走行しなければならず、タイムは無効となります。
決勝レース	一時停止無視・黄信号無視、フラッグ無視、カットイン、エッジイン・ブッシング・幅寄・重量規則違反、その他の違反	①白黒提示後→リミッター5～30秒、若しくは元の順位に戻すまで ②レース後 ポジションダウン／周回数減算／タイムペナルティー／失格

- ペナルティーは、レース終了後に審議の結果で科される場合があります。
 - 軽度の違反に関しては白黒の警告旗を提示する注意のみとなります。
- (白黒旗の場合でもレース中のリミッターペナルティーや、レース後のペナルティーとなる場合があります)
①リミッターペナルティー中は他車の走行を妨害しないように走行してください。
- ペナルティーの裁定に関して、一切の抗議は受け付けません。

14. 失格について

失格は下記の反則行為に科せられます。※施設退去していただく場合もあります。

- 主催者・オフィシャル・他のドライバーの名誉を傷つける様な言動をした場合。
- オフィシャルの指示や規則に従わない場合や重大な違反行為（重量規則違反）・危険行為・マナー違反・不正行為など

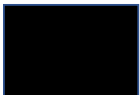
15. 重要事項

- 主催者は会場で撮影されたすべての参加者の肖像権を有し、音声、写真、映像などを放送、出版、インターネット公開等にて使用出来ることとします。
- 全ての参加者はレンタルカートには個体差があることを承知して参加しなければなりません。
- 全ての参加者は、走行中に発生した保険の範囲を超える事故や怪我は自己責任で解決し、主催者、サーキット所有者、管理者、大会に関わる関係各所、他の参加者を非難、責任追及、損害賠償の要求、訴訟をおこさないこととします。
- 主催者は不可抗力による特別な事情(特に悪天候や安全上の理由)が生じた場合にはイベントを中止することができます。
- 全ての参加者は、主催者やレースの関係者に対し、または参加者同士で他人が不快に感じる行為や不謹慎な言葉使い、暴言、威圧大声、あるいはイベントを妨害する行為をとった場合、失格とします。※施設退去して頂く場合もあります。
- 主催者や関係者、参加者同士に対してSNS等で誹謗中傷、侮辱をした場合、今後イベントへの参加を取り消す場合やエントリーの拒否をする場合がございます。
- 主催者、全ての参加者はお互いをリスペクト(尊重)して大会を楽しんでください。
- 主催者が規則の変更が必要と判断した場合は、改訂版規則書または、公式通知として発表致します。
- 規則の解釈、本注意事項ならびに競技の細則に関する解釈に疑義、不足が生じた場合は主催者及び競技長の決定を最終的なものと致します。

16. 賞典について

A決勝 1位～3位 正賞 1～3位 副賞

17. フラッグについて

ブラックフラッグ（黒旗）	ブルーフラッグ（青旗）	オレンジ ボール	白黒旗	チェッカー フラッグ
				
ペナルティ時に提示 ピットインしてペナルティ ストップが必要です	後ろから先頭集団が接近 しています。 静止：進路を譲る準備 振動：進路をすぐ譲る	装備品の不備、マシントラ ブル時に提示。ピットイン してオフィシャルの指示に 従って下さい。	警告旗。軽度のペナル ティー時に提示。ピットイン 不要。リミッター又はレース 後ペナルティー	走行終了の合図です。 ゆっくり1周してピットインし てください。
イエローシグナル（黄旗）	レッドシグナル（赤旗）			
				
コース内の危険をお知らせ の合図です。前方に注意 して走行してください。追い 越しは禁止となります。	走行中断の合図です。 徐行してオフィシャルの指 示に従いピットインしてくだ さい。			

18. スポーツ安全保険について

全ての参加選手はスポーツ安全保険への加入が必須となります。年額の掛金、登録管理料を初回参加時にお支払い頂きます。事故の日からその日を含めて180日以内の死亡、後遺障害、入院、手術、通院について下表の通り保険金が支払われます。但し、通院保険金の支払日数は、1事故について30日が限度になります。

範囲対象	死亡	後遺障害（最高）	入院（1日につき）	通院（1日につき）
団体活動中とその往復中	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円

※入院、通院については治療日数1日目から補償されます。

※入・通院保険金は医療費の実費ではなく、上表の通り1日当たりの定額保険金が支払われます。（各自治体の助成等で治療費が掛からない場合でもお支払いの対象となります。

※約款所定の手術を受けられた場合には、手術保険金（入院中の手術：入院保険金日額の10倍、入院中以外の手術：入院保険金日額の5倍）が支払われます。